

避難所運営ゲーム (HUG)

【公開講座】

講師 小規模多機能ホームななかまど 施設長 田村政喜
(相模原市防災マイスター)

【研修内容】

避難所運営ゲーム (HUG) は、避難所運営を皆で考えるための一つのアプローチとして静岡県で開発されました。

避難所の運営をしなければならない立場になった時、最初の段階で殺到する人々や出来事にどう対応すれば良いのか？避難所や福祉避難所ってどんなところなの？避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを使い、避難所に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか。また、避難所で起きうる様々な出来事にどのように対応していくかを疑似体験しながら、理解を深めていくゲームです。

小規模多機能ホームななかまど 施設長 田村政喜
(相模原市防災マイスター)

心配性の臆病者ですが、アウトドアスポーツや防災関連に興味があり、相模原市の実施する防災マイスターの研修を受け防災マイスターとしての活動も行なっています。

趣味のアウトドアスポーツや各地で発生する災害のニュースをみて、「サバイバル的状况に遭遇しても、自分だけは生き残りたい」という考えが始まりですが、多少の経験や知識をもとに、防災意識の向上のお手伝いをさせていただき、災害発生時でも必要以上にパニックを起こすことなく対応できるよう、お役に立てればと思います。